

#NICE

Numazu association for International Communications & Exchanges

Vol.52

発行日 2005年1月25日
発行者 NICE沼津国際交流協会
(企画広報部会)
所在地 沼津市御幸町16番1号
(事務局) 沼津市役所地域づくり推進課国際交流室内
☎055-934-4717



2005年も NICEな年でありますように!

岳陽部会
岳陽市人民代表大会常務委員会訪日代表団一行7名来沼

友好都市岳陽市から11月3日代表団が来沼しました。

代表団は日本の市議会にあたる「岳陽市人民代表大会常務委員会」の方々で、団長の陳志剛主任（市議会議長）と岳陽市内の華容県他数県の人民代表大会常務委員会主任等7名の訪問でした。

3日、東京池袋で出迎えましたが、会うと同時に、右手は温もりの握手、左手は相手の肩をたたき合い「ニイハオ」「ニイハオ」「やあ、やあ、やあ」と初対面とは思えない親しみを感じる出会でした。沼津滞在が短いため、昼食後からハードスケジュールの始まりでした。

東名高速を走り、富士山へ、日没の早い時季とあって、富士山を見ることができると心配でしたが、五合目での富士、「忠ちゃん牧場」付近からの富士に、一行は感激した模様でした。

4日は早朝より市長表敬訪問、議長表敬訪問、沼津市議会議場の視察となりました。市長表敬訪問の際の歓談では、「沼津は衛生的で美しい街」と印象を述べたり、近年の岳陽の発展振りが紹介されました。斎藤市長からは中高一貫教育の市立高、南消防署の広域通信司令室などの見学をして、実りある視察となることを願っていますとの話がありました。歓談の所々で、来年は友好締結20周年を岳陽で祝うため、市長に訪岳要請がありました。

昼食は天麩羅、さしみの日本食で！ 最近では中国人でも日本食を好むようになりました。夜はリラックスムードの協会役員との夕食会で友好を深めました。

5日は朝早くから陸路で戸田村へ。「へだっこセンター」で、元気な子供たちの歓迎を受け、真っ青な海を見て、船で沼津港へ。「びゅうお」視察、御用邸で抹茶を！ 研修生2人から抹茶の飲み方など手ほどきを受けながらひと時の休憩になったと思います。

夜は東急ホテルで「沼津市・岳陽市友好の宴」となり、宴では日本の伝統文化、琴の演奏に聞き入ったり、ピアノのパフォーマンスでは斎藤市長と陳団長が皿回しに挑戦し、拍手喝采を受けました。そんな楽しい時は過ぎるのも早いもので、名残を惜しみながら閉会となりました。

6日の朝、沼津を離れ、三島から京都、大阪を視察し関空から離日しました。

短い滞在でしたが、充実した視察と友好交流ができたと思います。三島駅では、「来年岳陽で」と握手で始まって握手での別れとなりました。



市庁舎前にて代表団一行7名と研修生2名



戸田村へだっこセンター視察の際高足ガニの魔除けを贈られた陳団長

岳陽市教育研修生来沼

友好都市岳陽市から研修生2名が9月1日来沼しました。

2人とも岳陽では教育に携わる女性です。1人は湖南理工学院で沼津からの留学生のお世話をさせていただいております陳鈺さん、もう1人は第八中学校で英語の教師をしている周正さん。

陳さんは2回目の来日で上手な日本語を話す人で、周さんは初めての日本であり、来日当初は日本語はほとんど話せませんでした。

中高一貫教育の市立高で主に文系の授業の聴講をし、日本の中高一貫教育の研修や沼津・岳陽の友好交流の推進、日本語能力の向上を目指しました。放課後は茶道部、華道部の部活動に参加し、日本の伝統文化を勉強したり、テニス部の生徒とともにテニスで汗を流していました。

岳陽部会

また、山岳部の生徒たちと富士山登頂に挑戦し、顧問の先生方と生徒たちのサポートで頂上を極めることができ、生涯忘れ難い思い出となったようです。

金曜日には市立高校から外に出て、市内の小学校で中国や岳陽の紹介をし、ユーモアを交えて、遊び感覚で中国語の面白さを伝えていました。

「信」は何ですか？

日本語で信じる？ 通信？

中国語では「手紙」ですよ。

では中国語の「手紙」は何ですか？

皆さんが毎日使っているものですよ。

中国語の「手紙」はトイレットペーパーですよ。

小学生たちは興味津々、目を輝かせて、普段とは一味違った時間を過ごしていたようです。

また、夜4回シリーズで「岳陽講座」を開催し、市民を対象に岳陽市の概況、中国の東西南北での食文化の違い、今流行しているもの、中国の祝日・行事などを紹介してもらいました。

観光旅行とは一風違った面から中国を見聞した感じで、中国に行ってみたい、岳陽に行ってみたいとの発言もありました。

今回の研修生は非常に積極的に活動され、このほかに第2回中国料理教室で湖南料理の紹介もしました。

彼女たちは体調を崩すことなく、3ヵ月間フルに活動していただき、11月28日に離沼、29日成田から離日しました。

28日三島駅のホームで曰く「帰国したくない。でも国では夫や子供、また両親が首を長くして待っています。来年は20周年のお祝い、岳陽で会いましょう！ 再見！」



原小学校で中国や岳陽市の紹介をする研修生



岳陽講座で中国紙幣を紹介する陳さん

太極拳教室

恒例の太極拳教室が函南町在住の桐山先生を迎えて11月3日より4回シリーズで始まり、8式太極拳を学びました。

参加希望の電話受付は開始後20分で定員になり、関心の高さを物語りました。

日頃のストレスを動の運動とは一味違った静の運動で汗とともに発散しました。参加者の出席率も90パーセントでした。

第3回中国料理教室

12月19日(日)第一地区センターにて第3回中国料理教室が開催されました。

講師は会員の藤澤昭光さんをお願いし、以下の4品を作りました。

- ①フカヒレどんぶり
- ②白身魚のワンタン巻揚げレモンソース添え
- ③車えびの紹興酒じめ
- ④ごま汁粉

意外と安価な材料で豪華な料理ができ、家庭でもおもてなし料理として活用できます。レシピの欲しい方は事務局までお問合せください。

第13回春節祭が開催されます。

- 日時 平成17年2月6日(日) 11:00~15:00
- 場所 日の出町広場
- 内容 スープ餃子等の軽食・友好都市の紹介・胡弓演奏・太極拳演技・マジックショー・福引等
- 参加費 500円(小学生は200円、幼児は無料)
- 問合せ 事務局 ☎055-934-4717



国際理解教育部会
13回英語&日本語スピーチコンテスト

10月17日(日)沼津市立図書館4F視聴覚ホールにおいて、第13回英語&日本語スピーチコンテストが開催されました。

今年度は、日本語の部への出場希望者が多く、募集が始まった早い時点で定員を超えるほどでした。結局、英語の部への出場希望者が8名だったため、なるべく多くの人に参加してもらうというコンテストの主旨から、日本語の部の参加者を12名としました。

開会直後は聴衆が少なく、スタッフはやきもきしましたが、時間と共に増え、真剣にスピーチをする出場者へ温かい拍手を送っていました。

英語の部では、沼津およびその周辺地域に住む8名が参加しました。おなじみの顔に加え、初々しい高校生の姿もありました。みんな緊張しながらも真摯な態度で、自分が経験したことや主張を自分の言葉でわかりやすくスピーチしていました。

日本語の部へは、オーストラリア、マレーシア、ラオス、中国、韓国、ニュージーランド、インド、ベトナム、アメリカ合衆国と国籍も様々な12名が参加しました。内容は、日本に来て経験したことや、自分の国の紹介、自作の詩を盛り込んだものもありました。みんな一生懸命スピーチに臨み、審査員の方々は、甲乙つけがたく頭を悩ませたそうです。

コンテスト終了後の交流会は、ホール横の元喫茶店だった講座室を使って行われました。出場者の緊張も解け、その労をねぎらったり、お互いの連絡先を教えあったり、和やかな雰囲気の中進みました。立食形式だったため、コップ片手に場所を移動しながら、いろいろな人と交流することができたように思います。

 英語&日本語スピーチコンテスト英語和日語講話比賽
 THE ENGLISH & JAPANESE SPEECH CONTEST

英語の部 優勝
 菅沼武治さん

 英語&日本語スピーチコンテスト英語和日語講話比賽
 THE ENGLISH & JAPANESE SPEECH CONTEST

日本語の部 優勝
 王 俊奎さん

インターナショナルクッキングサロン
—国際交流サロン— ～ネパール料理～

11月14日(日)第一地区センターにて、恒例のクッキングサロンが開催されました。今年度は講師にナレス・マハラジャンさんと奥様をお迎えし、ネパールの家庭料理4品を教えていただきました。

驚いたのがどの料理にも使われるたくさんのスパイスです。生姜、ニンニク以外のスパイスは日本ではあまりなじみがなく、その香りと味に皆さん興味津々でした。

一品目の“チキンカレー”はサラッとしたスープ状のカレーで、日本のものとは全く別のカレーでした。二品目は“ツェラ”という水牛の肉（今回は豚肉で代用）をスパイスで和えたもので、待ちきれずつまみ食いをした方たちからビールのおつまみにいいと声が上がっていました。三品目は“じゃがいものタルカリ”という、これまた意外な野菜カレーで、ポテトサラダのカレー味といえば、少しは伝わるかもしれませんが。最後に“ネパールティー”を作り、完了です。品数は多かったのですがナレスさんがとても手際よく進めてくださったのでほぼ時間通りに作り終えることができました。

試食会はナレスさんを囲んで和やかに行われました。ナレスさんは日本語もお上手で、博識なのに気さくな方で、たくさんの楽しいお話を伺うことができました。手の指を使う食べ方を教わったり、ネパールの話を伺ったりと、とても有意義な時間を過ごしました。もちろん料理もとてもおいしく、異国情緒たっぷりの香りとお話で、皆さん大満足でした。



カラマズ一部会

Year End Party

千本プラザ 12月11日(土) 18:00~20:30

身近な素材を創意工夫して仮装したドラキュラ、ひよっこ、そして子供たちの可愛い衣装。

参加者全員(81人)が持ち寄った料理を食べながら歓談。

リキ・デキシード・クルーの軽快な演奏をバックにダンス。ボブ先生のマジックと風船割りゲーム。最後は聖者の行進曲。

参加者全員が輪になって踊ってパーティーは終わりました。



ぬまづガイド 英語講習会

カラマズ一部会 鈴木智晶

25年間高校で教鞭を執られた英語教育の専門家、高校ではレスリング部のコーチをされていた方、そのプロフィールを伺い、身を固くしてお迎えしたBob先生は、笑顔の素敵なユーモア溢れる優しい方でした。

Bob先生のご指導のもと、奥さまのConnieさんの参加もあり、第4回ぬまづガイド英語講習会は、充実した10回のコースを終了しました。

初級講座とはいえ、受講生が大人であるため、Bob先生のお話は多岐にわたり、社会人としての好奇心を刺激されることもしばしばでした。またご夫妻の、日本、そして沼津に対する好奇心は並々ならず、「海外から沼津を訪問されるお客さまに、沼津を英語で紹介する」という講習会の目的にあった実際の練習をお二人相手にすることができました。講習会を通じ、沼津のアピールポイントを再認識できたという収穫もありました。受講生の方々は、名残惜しい気持ちで、修了証を受け取られたことと思います。

受講生の方々が講習会で得てくださったもの、それが海外からのお客さまとの楽しい交流のお役に立ちますよう、スタッフ一同祈っております。



国際交流フェア

沼津国際交流協会（NICE）による国際交流フェアが、平成16年11月7日（日）「学習院沼津游泳場」を会場に開催されました。当日天候にも恵まれ絶好のイベント日和になり、スタッフを含め400人近い人達でにぎわいました。

毎年恒例のフェアは、在住外国人と市民が触れ合う場となっており、各国の文化を紹介すると同時に、そのお国の料理を試食できるブースも設けられ、スタート時から大変な人気でした。

在住外国人のブースではインド、タイ、インドネシア、台湾、イラン、ペルー、カナダ、エルサルバドルの8カ国が参加し、日本人ブースでは日本食（そば打ち）、華道、着装、箏曲、煎

茶道、書道などが設けられ、外国人の人達にとっても、日本文化を知る良い機会となりました。

特設ステージでは、タイ、イラン、ペルー、インドなどをはじめとする各国の踊りが披露され、日本舞踊では子供達の可愛い踊りで皆さんから喝采をあびていました。

顔かたち、髪や肌の色、言葉の違いを乗り越えて皆さん楽しく一日を過ごして頂けたと思います。

多くの会員の方々のご協力をいただき、準備から片付けまで大変な2日間だったと思いますが、無事終了し、ありがとうございました。



コーカサス青年が
沼津に！

- ◆事業名：青年招へい事業分野別地方プログラム
- ◆主催：独立行政法人国際協力機構（JICA）
- ◆実施団体：沼津国際交流協会
- ◆期間：平成17年2月1日（火）～8日（火）
- ◆ホームステイ：平成17年2月4日（金）～6日（日）
- ◆目的：コーカサス地方（アゼルバイジャン共和国・アルメニア共和国・グルジア）から地域振興（中小企業振興）について研修のため来日（14名）

興味のある方は、
ぜひスタッフとして
参加してみませんか？